



令和7年度
港区平和青年団活動報告書

忘れない。その約束を未来へ



港区平和都市宣言



港区



活動報告書の発行に当たって

私たち、令和7年度港区平和青年団は、長崎派遣研修に向けて、6月から事前研修を行いました。事前研修では、東京への空襲についての学習や「港区語り部の会」の皆様との交流のほか、都立第五福竜丸展示館と昭和館・しょうけい館の見学、ウクライナからの避難者の方との交流を行いました。また、例年の活動に加えて、今年度は戦災VRを通してウクライナの戦地の様子を疑似体験し、倒壊した建造物や飛行機の映像を見て、平和に関する知識を深めました。

長崎派遣研修では、高校生平和大使との交流や青少年ピースフォーラムに参加し、「違うってどういうこと？違うって悪いこと？」などについて、全国の同世代の学生たちと、たくさんの意見交換をしました。

また、8月9日の長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典への参列や被爆者の方々のお話を通して、改めて原爆の悲惨さや核兵器の脅威、平和の尊さを学びました。

8月23日に、これまでの研修で学んだ学習の成果を活かし、原爆の悲惨さや核兵器の脅威、平和の尊さを地域に伝える活動報告会を行いました。10月12日のみなと区民まつりでは青年団で考えた企画も行い、区民の皆様へ自分たちの学びを伝える場となりました。

そして、活動報告書の制作にも関わらせていただき、レイアウトやデザインなどを考えました。この活動報告書を通じて、多くの方々が平和について関心を持ち、考えていただくきっかけになれば幸いです。

最後に、事前研修、長崎派遣研修に際し、お世話になりました全ての皆様に心から御礼を申し上げます。

令和7年度港区平和青年団

目 次

団員の絆と共に築く平和の継承	1
平和青年団概要、団員紹介	2
令和7年度港区平和青年団の活動	10
団員選考、事前研修、結団式	10
長崎派遣研修	14
活動報告会「平和のつどい～若者が伝える平和の想いと未来～」	17
平和啓発活動～みなと区民まつりへの参加～、港区平和青年団修了式	18
団員個人ページ	20
平和企画「私が未来に紡ぎたいもの・こと」	48
みんなと結ぶ Happy & Peace (ハッピーズ)	52
港区平和青年団派遣先及び派遣人数	54
被爆80周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典次第	55
長崎平和宣言	56

団員の絆と共に築く平和の継承

令和7年度 港区平和青年団
団長 太田 智昭

令和7年度、港区平和青年団の団長として、14名の団員と共に活動を進めてまいりました。団員一人ひとりが主体的に学び、考え、行動する姿を間近で見守ることができたことは、私にとって大きな喜びであり、また深い学びの機会となりました。

本年度の活動では、東京大空襲や戦災資料館での学習、語り部の方々との交流、都立第五福竜丸展示館や昭和館・しょうけい館での見学などを通じて、戦争の悲惨さと平和の尊さを学びました。さらに、ウクライナ避難者の方との交流や戦災VR体験を通じて、現在も続く戦争の現実を自分たちの問題として捉える視点を養いました。

長崎派遣研修では、平和祈念式典への参列、原爆資料館の見学、被爆建造物のフィールドワークを行い、団員たちは「平和を守るとは何か」を自らの言葉で考え、全国から集まった同世代の仲間と意見を交わしました。帰路では、予定していた便が欠航となり、急遽福岡へ移動し翌朝の便で帰京するという予期せぬ事態に直面しましたが、団員たちは互いに声を掛け合い、笑顔を絶やさず、団結力と柔軟さで乗り切りました。この姿に、私は彼らの強さと明るさを改めて感じました。

活動の集大成として開催された「平和のつどい」では、団員たちが自らの体験を区民や関係者の皆様に発表し、平和の大切さを広く伝えることができました。発表は、単なる学習の成果ではなく、未来を担う世代が自らの責任として平和を語り継ぐ姿そのものであり、会場に大きな感動をもたらしました。

特に今年度は、昭和60年に港区が「平和都市宣言」を行ってから40周年、そして終戦から80年という節目の年にあたる事業でした。終戦から80年が経過し、当時を直接語ることのできる方々が年々少なくなっている現実があります。そのような中で、若い世代が自ら学び、体験を通じて平和の大切さを理解し、次の世代へと語り継いでいくことこそ、この事業に関わる最大の意義であると強く感じました。

そして何よりも、今回の団員の団長として関わることができたことは、私にとって大きな喜びであり、同時に深い学びの機会でもありました。志を同じくする若者たちと共に歩み、その真剣な姿勢や柔軟な発想から多くを教わり、忘れかけていた大切な思いを再び心に刻むことができました。団員同士の絆が未永く続き、さらに広がっていくことを願うとともに、団長としてその一端を担えたことを誇りに思います。

最後に、活動を支えてくださった総務部総務課人権・男女平等参画係の職員をはじめ、港区長、関係各所の職員・関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。貴重な機会を頂き誠にありがとうございました。団員一人ひとりの人生において、今年度の経験が大きな糧となり、地域社会に平和の輪を広げていくことを願っております。

港区平和青年団事業概要



港区平和青年団事業は、核兵器の廃絶と真の平和の願いを込めた「港区平和都市宣言」の趣旨を実現するため、区民一人ひとりの意識の高揚を図り、平和を築き守る取り組みとして実施しています。区内在住、在勤、在学の高校生世代を対象に、被爆地長崎への派遣研修など、戦争や平和に関する研修や活動を通じて、主体的に平和を築く意識を醸成するとともに、広く地域へ伝えることを目的としています。

研修や活動の成果は、活動報告書としてまとめるとともに、活動報告会を開催することで地域に発信しています。

団員紹介

港区平和青年団団長



太田 智昭

OTA TOMOAKI



【好きな言葉】

シンプル思考

【長崎派遣研修で団員に学んで欲しいこと】

被爆地長崎での体験を通じて、戦争の悲惨さと平和の尊さを学ぶのと同時に、自分の言葉で語れる力を育て、周りに伝えることができる人になって欲しいです。

【平和だと感じる時とその理由】

学校や職場で、何も規制がなく個人の考え方や意見を持って自由に会話出来る時。戦時中や紛争がある状況ではできないと感じます。

【長崎派遣研修に向けての意気込み】

団員一人ひとりの気づきや成長を支えながら、共に平和の意味を深く考える事業としたいです。

また、長崎での体験や戦争を体験された方々の思いや、経験を少しでも伝えられるようにしたいと思います。



石平 暖佳 ISHIHIRA HARUKA



【志望動機】

中学2年生で沖縄へ訪れたときから、戦争や平和の学習に興味を持ちました。修学旅行で広島へ行ったときには、原爆がどのようなものかを肌で感じ被爆者の話を聞いて、平和がいかに尊いものかを改めて気づかされました。

この経験から、長崎へ実際に行って自分の見聞を広げたいと思い、応募を決めました。

【好きな言葉】

どんなときでも、笑顔を忘れずに

【長崎で学びたいこと】

ピースフォーラムの参加を通して、同年代の人たちが平和や戦争についてどのように伝えていこうと考えているかを知りたいです。

将来、保育に携わりたいと思っているので、私にできることは何か、自分だけでは気づけないことを多くの人の意見から吸収したいです。

【平和だと感じる時とその理由】

部活からの帰り道、友達や先輩と話しながら帰っているときです。

爆発や飛行機におびえず、他愛ない話で盛り上がり、ずっと続いてほしいと思うからです。

【長崎派遣研修に向けての意気込み】

沖縄、広島へ行って、実際に行って分かることがたくさんありました。

壕の暗闇、原爆ドームをこの目で見たあの衝撃。本やインターネットを見るだけでは分かりません。

長崎でも、現地で感じたことをたくさん持ち帰り、未来に残す方法を考えたいです。



市橋 真直 ICHIHASHI MANAHO



【志望動機】

私は中学校3年生の時に、学校の平和学習で広島に行きました。その時に原爆ドームを見て写真で見るのとは全然違うと思いました。

建物の大きさは思ったよりも大きく、小さな爆風の傷も見えました。

長崎でもそうした実感を持てるよう、体験したいと思います。

【好きな言葉】

急がば回れ

【長崎で学びたいこと】

長崎では原爆の悲劇を風化させることなく、平和の尊さを次の世代に伝えることの重要性を学びたいです。

【平和だと感じる時とその理由】

私は今、何からもおびえることなく過ごすことができていますが、今この時に戦争中の国の子は、毎日が命懸けだと思います。

なので、私たちは、何気ない一日でもとても平和だと思っています。

【長崎派遣研修に向けての意気込み】

青年団に選ばれたからには、長崎から帰ってきたときに「平和とは何か」を自分なりの言葉でいいので答えられるようになりたいです。

宜しくお願い致します。



稲井 琉楓

INAI RUKA



【志望動機】

私は昨年広島派遣モニターに参加しました。
港区の平和都市宣言と、日本国としての核兵器廃絶、世界の恒久平和への想いを
実感しました。
長崎の原爆は広島との原爆と何が異なるのか、広島と関連付けながら知りたいと思
い、志望しました。

【好きな言葉】

大切なものは目に見えない

【長崎で学びたいこと】

原爆が投下された時の気候や広島との原爆の種類の違いを知りたいです。
また、長崎の地に立ち、事前研修を受けたり調べたりしても得られなかったようなものを長崎では感じたい
と思います。

【平和だと感じる時とその理由】

1日終えて布団で寝れる時です。
戦争中は布団で寝れず明日がくるか分からない状況だったから。

【長崎派遣研修に向けての意気込み】

体調に十分に注意しながら貴重な体験なので1日1日大切にしながら平和学習をしたいです。
この先も平和であるために自分に何かできるのかを考えながら研修に取り組みたいです。



内山 葵

UCHIYAMA AOI



【志望動機】

私が幼稚園児のとき赤坂図書館に初めて行って、最初に手に取った本が広島
の原爆の様子が描かれた絵本でした。
後に平和に興味を持つようになり、小学校の自由研究や読書感想文で平和に関
連することについて書くようになりました。
そして国連に入りたいと思うようになり、その第一歩として平和青年団に応募
しました。

【好きな言葉】

迷った時は心の声を道しるべにすればいい

【長崎で学びたいこと】

なぜ長崎に原爆が落とされたのか、その政治的・歴史的背景を知りたいです。
また、被爆者の証言を通して「原爆が人々の生活にどれほどの影響を与えたのか」、「どんな苦しみがあっ
たのか」について学び、理解を深めたいです。

【平和だと感じる時とその理由】

家族と一緒にご飯を食べている時や、友達と遊んでいる時。

【長崎派遣研修に向けての意気込み】

私は毎日の日々がとても平和で、これが当たり前の日常だと思っていましたが、現実はそうではありません
でした。
考え方や宗教、文化の違いによって対立が生まれ、戦争が起き、たくさんの命が失われています。
私は日本という平和な国に生まれて本当に幸運でした。平和青年団で様々な人々と交流をし、沢山の価値
観にふれながら戦争と平和を考えていきたいです。



運天 美月

UNTEN MIZUKI



【志望動機】

私は沖縄出身で、先祖は沖縄戦を体験し、平和と隣り合わせで平和の大切さを教えられてきました。

中学校へ入学し、平和学習で原爆を知り、広島を訪れ、深いショックと悲しみを覚えました。

同じ苦しみを繰り返さず、世界の恒久平和を願い、今回志望しました。

【好きな言葉】

なんくるないさ（なんとかなるさ）

【長崎で学びたいこと】

第一に学びたいことは、原爆の被害とその歴史、被爆者の声・原爆で親を亡くした子供達。いわゆる、戦争孤児について詳しく知りたいと思っています。

現時点で戦争が始まりそうな時代になっている中、いかに私達が当事者から繋げられるかが大事だと思います。

【平和だと感じる時とその理由】

友達と何気ない会話で笑えているとき。

【長崎派遣研修に向けての意気込み】

平和は誰かに任せるとはではなく、一人ひとりが考え、行動することで築かれていくものだと思います。

私は、戦争の記憶や被爆者の声を知るだけで終わらせず、それを周りと共有し、次の世代に伝える役割を果たしていきたいと考えています。



金生ベカ 美愛

KANOBECCAT MIA



【志望動機】

小学4年で原爆を学んだ衝撃から、峠三吉の詩集など貪るように読み、冬には父と広島へ。原爆ドームの前で感じた人間の残酷さは今も忘れません。

あの日の決意を胸に、戦争の悲惨さと平和の尊さを学び、世界へ発信できる人になりたいです。

【好きな言葉】

the only limit is your mind

【長崎で学びたいこと】

被爆者の生の声を聴き、言葉にできない痛みと命の重さを受け止めたい。

小学生の頃から追いつけてきた問いに、長崎の地で真正面から向き合い、なぜこんな悲劇が起きたのか、二度と繰り返さないために何が必要か、深く考え抜きたいです。

【平和だと感じる時とその理由】

自分の意志で物事を選ぶときに、平和を感じます。

何を学ぶか、誰と過ごすか、どう生きるか。選択肢があり自分で決められる環境は、決して当たり前ではありません。この自由こそが平和の証であり、失ってはならない大切なものだと思います。

【長崎派遣研修に向けての意気込み】

戦争や核の悲劇を知ることは、過去の出来事を学ぶだけでなく、平和を守るための責任や行動力を育みます。長崎では国際的な環境で育った経験を活かし、多様な人々と協力して平和を築く方法を考えたいです。



岸 凛佳 KISHI RINKA



【志望動機】

高校1年生の夏に「アナウンサーの戦争」という映画を見に行き、多様な目線から見る「戦争」にとても惹かれました。

募集要項には、戦争経験者の方からのお話も伺えるとあり、普段私は教科書のような一定の目線からの戦争しか知らないなので、この青年団での活動を通して色々な人の様々な角度からの「戦争」「原爆」について知りたいと思ったからです。

【好きな言葉】

不執研鑽

【長崎で学びたいこと】

歴史の教科書や東京には感じることでできない被爆地の空気感から、長崎に原爆が落ちることになったこと、そして、被爆国だからこそ伝えていかなければならない責任について学びたいです。

また、当時の人たちの想いに触れたいです。

【平和だと感じる時とその理由】

家族が「ただいま」と家に帰ったときです。

その日が当たり前が終わったということ、とても実感できる瞬間だからです。

【長崎派遣研修に向けての意気込み】

当時の人たちの想いに触れ、次は自分たちが原爆や戦争について伝えていけるようにしたいです。

聞いたこと、見たこと、感じたことすべてを吸収して、まずは身の回りの人に平和の花の種を植えられるようにする!!



木ノ原 もも KINOHARA MOMO



【志望動機】

戦争の記憶が薄れていく今の時代だからこそ、被爆地である長崎に足を運び、自分の目と耳で平和の大切さを感じ取りたいと思い、今回の派遣に応募しました。

【好きな言葉】

ありがとう

【長崎で学びたいこと】

長崎で出会う被爆者の方々の声や、残された風景に直接触れ、戦争の残酷さや平和の大切さを学ぶとともに、「自分がこの時代に何を考え、どう行動すべきか」を問い直す機会にしたいです。

【平和だと感じる時とその理由】

子供たちが安心して笑い合い、遊んでいる姿を見た時に平和を感じます。

何気ない日常の中にこそ平和のありがたさがあり、それを守り続ける責任が自分たちにもあると感じるからです。

【長崎派遣研修に向けての意気込み】

1人ひとり出来ることは小さくても、その積み重ねが平和を守る力になると、私は信じています。

戦争の記憶を風化させず、私たちが生きる世界の平和を守っていきたいです。



鈴木 祐彩 SUZUKI YUA



【志望動機】

私の祖父と祖父の姉が長崎で被爆していて、母から中学生の頃からよく祖父の体験を聞いて、原爆や戦争、平和について詳しく調べ同じ世代の人たちと意見を共有したいと考え、応募しました。

また、被爆三世である私が一人でも多くの人に戦争や平和について発信することで若い人たちも興味を持ってくれる機会が少しでも増えてほしいと考えました。

【好きな言葉】

選ばなかった道を選んだもう一人の自分に胸を張れる選択肢をしる。

【長崎で学びたいこと】

事前研修では得ることができなかった、実際に長崎を訪れることで現地の人からしか受け取れない想いを自分の肌で感じ、「平和とは何か。」という疑問について自分の中で答えを出せるようになりたいです。

【平和だと感じる時とその理由】

学校の友達と他愛のない話をして盛り上がっている時です。

普段と変わらない時間を過ごせているのが「平和だなあ。」と感じるからです。

【長崎派遣研修に向けての意気込み】

体験された方々の高齢化が問題となっている中、多くの同世代に語り継げるよう自分自身の考えを広めていき自分も派遣を通して成長できるようになりたいです。



田中 栗太郎 TANAKA KURITARO



【志望動機】

港区平和青年団を志望する理由は、長崎で受け継がれてきた平和観と記憶が、戦争を経験していない世代である私たちにどのように伝えられてきたのかを、現地での対話と体験を通して実証的に理解したいと考えたからです。

原爆の惨禍を単なる知識ではなく「実感」として受け止め、自らの言葉へ再構成し、次世代へ継承する役割を担いたいと考え志望しました。

【好きな言葉】

時間残響

【長崎で学びたいこと】

長崎で学びたいのは、核兵器の惨禍を具体的に直視し、その悲惨を記録・語り継ぐ責務を自覚して、未来へ平和を託す志を育み、二度と被爆を繰り返さないよう“最後の被爆地”であるという決意を行動に転じていくことです。

【平和だと感じる時とその理由】

友達や周りの人と普通に話して笑い合える時間があるときに平和だと感じます。

何気ない日常が続いていることは当たり前ではなく、とても大切だと思います。

今日という一日が平和であると感じます。

【長崎派遣研修に向けての意気込み】

長崎派遣研修では、実際に核兵器の惨さを自分の目で確かめ、その経験をしっかりと心に刻みたいです。そして学んだことを自分の言葉で伝え、未来の平和につなげるために全力で取り組みます。



永井 奏和

NAGAI SOWA



【志望動機】

将来は、様々な視野を持って社会貢献ができる人になりたいと思っています。
「平和」とは何か、「幸せ」とは何かを同世代と協力しながら学び、行動することで平和のために自分にできることを考える貴重な機会だと感じました。自分の視野を広げると同時に、他者の立場に立って物事を考える力もつくと思ったからです。

【好きな言葉】

全てが上手くいく必要はない。初めての人生なのだから。

【長崎で学びたいこと】

長崎での被爆や平和への取り組みについて触れることで、資料では学ぶことができない戦争の悲惨さや命の尊さを実感したいです。

さらに、被爆された方の声を直接聞き、平和の大切さを「次世代」に伝える責任についても深く学び考えたいと思っています。

【平和だと感じる時とその理由】

何気ない日常です。家族や友達と笑い合っている時や、些細なことで喧嘩してしまった時、美味しいご飯が食べれて安心して眠れるそんな日々が平和だと感じます。それが当たり前ではないと知ってからさらに、日常の中にある小さな幸せこそが平和の象徴だと思いました。

【長崎派遣研修に向けての意気込み】

長崎研修では、初めて知ることが沢山あると思います。

事前研修を通して学んだことを踏まえ、自分の考えも大切にしながら沢山のことを持って帰って来れるようにしたいです。そして、次世代に伝えられるよう責任感を持っていきたいと思っています。

また、この研修を共にする青年団の仲間たちとも笑顔で楽しく学び、考えていきたいです。



浜田 華乃

HAMADA KANO



【志望動機】

現在、世界中ではたくさんの戦争が起こっており、それらを解決し、平和な世の中を作るために何が必要なのか具体的に考え、また同世代の人と意見交換することで自分1人では考えることのできない様々な意見に触れ合えると思い応募しました。

【好きな言葉】

泰然自若

【長崎で学びたいこと】

原爆の被害の大きさといった事実だけではなく、戦後、平和を構築する上での人々の想いや原爆の被害にあった方々とお話などを通し、改めて平和とは何か、そして平和を世界中で実現するにはどうしたらいいか考えたいです。

【平和だと感じる時とその理由】

家族や友人として話しているときです。

自分にとって大切な人と一緒に過ごせることは決して当たり前のことではなく、とても幸せなことなのだと思前研修を通して感じたからです。

【長崎派遣研修に向けての意気込み】

戦後80年という節目の年に長崎に行くことができることに感謝して、全ての行程に全力で取り組みたいです。

また、平和祈念式典に参列できる機会はとても貴重だと思うので、様々な人の演説を聞き、平和について理解を深めたいです。



三塚 小羽芽

MITSUZUKA KOUME



【志望動機】

今年は戦後 80 年なのもあり、実際に戦争を体験された方々のお話をきくことがとても貴重になってきているので、戦争についてまずは自分が知識を深め、平和を願い守る気持ちを、未来を生きる子どもたちに繋げていきたいと思い志望しました。

【好きな言葉】

笑う門には福来る

【長崎で学びたいこと】

被爆地の広さや、原爆資料館の展示品などを見て、肌に感じることで、知識を増やしていきたいです。
また、高校生平和大使との交流で、自分に近い年の子と考えを共有して、戦争に対する理解を深めていきたいです。

【平和だと感じる時とその理由】

家族全員で一緒にごはんを食べるときです。

みんなで話せることと、美味しいごはんが食べられることは当たり前のことではなくて、いつこの大切な時間がなくなるか分からないので、この時間が私にとって平和で、1 番かけがえのないものだと感じます。

【長崎派遣研修に向けての意気込み】

長崎研修の 3 日間を 1 分 1 秒大切に過ごし、体験し、得た学びを身の回りの人に共有し、争いを許容する人々の考え方を变えたいと思います。

また、このような素敵な機会をくださった港区の方々、一緒に研修をする仲間や家族に感謝を忘れずに活動します。



山下 芳佳

YAMASHITA YOSHIKA



【志望動機】

実は私は母からの勧めで応募することになったので、初めは良い人生経験になるなど軽い気持ちでした。

その後、戦争に関する動画を観ていくうちに、戦争や原爆の恐ろしさを直接感じたいと思うようになり、団員になることへの思いが強まりました。

【好きな言葉】

簡単じゃないなら不可能じゃない

【長崎で学びたいこと】

戦争実証で当時の人々の苦しみを学び、肌で感じたいです。

また、全国から集まる青少年の平和に対する考えや、長崎は平和の為に行っていること等も知りたいです。

【平和だと感じる時とその理由】

ベランダからぼーっと景色を見ながら好きなことについて考えている時です。

平和でなければ、ベランダに出ることも危ないし、ぼーっと考える余裕もないし、好きなことも楽しめないのではと思います。

【長崎派遣研修に向けての意気込み】

戦争の恐ろしさはもちろん、平和を築いてきた努力や思いにも目を向け、受け止め、そして次の世代へと伝えていき、未来の平和を築くことに貢献していきたいです。

今回の訪問が「平和とは何か」を深く考えるきっかけになるよう、真剣に活動していきます。

令和7年度港区平和青年団の活動



■ 団員選考

○日時：令和7年5月10日（土）、14日（水）

○場所：港区役所9階911会議室

作文と個別面接を通じて、平和に対する想いや平和青年団として活動する意気込みをお話いただき、今年度は14名の高校生が平和青年団に決定しました。



■ 第1回事前研修 「港区平和青年団修了生との交流」、「東京への空襲の学習」他

○日時：令和7年6月7日（土）午後1時30分～5時30分

○場所：青南いきいきプラザ集会室A・B・C（港区南青山4-10-1）

第1回事前研修では、昨年度の平和青年団の修了生との交流をした後、東京大空襲・戦災資料センター学芸員の比江島さんから、東京大空襲や山の手空襲の被害について解説していただき、過去にあった戦争を知った上で、【若い世代である私たちには、今何ができるのだろう】というテーマについて、各々が考えました。

また、山の手空襲によって多くの方が亡くなった表参道周辺で、平和関連史跡のフィールドワークを行いました。



昨年度の修了生と交流



比江島さんの講義



グループワーク



平和関連史跡フィールドワーク

■第2回事前研修「港区語り部の会」との交流

○日時：令和7年6月28日（土）午後2時～5時

○場所：生涯学習センター101会議室（港区新橋3-16-3）

第2回事前研修では、「食事・日常生活」、「軍事教練・空襲」、「集団疎開・学校教育」の3つのグループに分かれて、それぞれ戦時中や戦争前後の貴重なお話を港区語り部の会のみなさんから伺いました。



交流の様子①



交流の様子②

■第3回事前研修「都立第五福竜丸展示館見学」

○日時：令和7年7月5日（土）午後2時～午後5時

○場所：都立第五福竜丸展示館（江東区夢の島2-1-1夢の島公園内）

第3回事前研修では、学芸員の市田さんからお話や、施設の見学、ワークショップをとおして、水爆実験によって、第五福竜丸だけでなく、他の漁船やマーシャル諸島の人たちなど、とても多くの人々が被害にあっていることを学びました。



市田さんのお話を聞く様子



施設見学の様子



ワークショップの様子

■第4回事前研修 「昭和館・しょうけい館の見学」

○日時：令和7年7月19日（土）午後2時～午後5時
○場所：昭和館（千代田区九段南1-6-1）
しょうけい館（千代田区九段北1-11-5）
グリーンオーク九段2階）

第4回事前研修では、昭和館としょうけい館の写真や手紙、遺品など様々な展示物をとおして、戦争によって離れ離れになってしまった家族や友達の様子や、兵士として戦場に向かい、体や心に傷を負った人々について学びました。



見学の様子（昭和館）



見学の様子（しょうけい館）

■第5回事前研修 「ウクライナからの避難者との交流、戦災 VR 体験」

○日時：令和7年7月25日（金）午後2時～午後5時
○場所：港区役所9階研修室

第5回事前研修では、ウクライナからの避難者・オルガさんとの交流と戦災 VR の体験をとおして、戦争は遠いものではなく、いつ身近に起きてもおかしくないことを再認識しました。

また、ウクライナの建物の被害の様子を VR で見て、今も起きている戦争の悲惨さについて学びました。



オルガさんと交流している様子



戦災 VR 体験の様子

■ 結団式

○日時：令和7年8月1日（金）

○場所：港区役所4階庁議室

結団式では、清家区長から直接長崎派遣の決定書を受け取り、青年団として派遣されることの重みを改めて感じました。



決定書を受け取る様子



区長からのメッセージ



長崎派遣研修【8月8日(金)～10日(日)】



DAY
1

8月8日(金)

7:15	羽田空港集合
8:15	羽田空港出発(ANA661便)
10:05	長崎空港到着
12:00 ～ 13:00	<p>●高校生平和大使との交流(昼食)【会場:ホテルモントレ長崎】</p> <p>高校生平和大使からは、長崎での平和学習や戦争の伝え方について教えていただき、被爆地での平和学習について知りました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"></div>
14:00 ～ 17:30	<p>●青少年ピースフォーラム1日目【会場:長崎平和会館、長崎原爆死没者追悼平祈念館 他】</p> <p>青少年ピースフォーラムでは、被爆体験者講話の聴講や、原子爆弾についての学習、爆心地周辺のフィールドワークを通して、当時の人々は、どれだけ辛くて苦しい日々を送っていたかを改めて知りました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"><div data-bbox="833 1137 1374 1467"><p style="text-align: center;">団員コメント</p><p>被爆者の方のお話で、夏休み明けに「よう生きとったな」という会話があったということを知り、改めて当たり前に行けるありがたさを実感しました。 空襲から身を守る姿勢を教えてもらい、当時の様子を深く知ることができました。</p></div></div>
18:00 ～ 19:30	<p>●青少年ピースフォーラム交流会(夕食)【会場:長崎新聞文化ホール】</p> <p>全国からピースフォーラムに参加してきた同世代の学生たちと、交流を深めました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"></div>
19:45	ホテル到着【カンデオホテルズ長崎新地中華街】

9:00	ホテル出発
10:45 ～ 11:45	<p>●被爆 80 周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典への参列（会場：平和公園 平和記念像前）</p> <p>被爆 80 周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に参列し、平和を未来に継承していくことの大切さを再認識する場となりました。また、区の平和事業で集まった千羽鶴を平和公園に奉納しました。</p>
	<div data-bbox="199 409 513 958" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="536 409 903 958" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="924 689 1458 1028" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="308 976 831 1326" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1091 414 1283 450" data-label="Section-Header"> <h4>団員コメント</h4> </div> <div data-bbox="1016 459 1437 636" data-label="Text"> <p>区民の皆様には折っていただいた千羽鶴を奉納しました。あいにくの大雨でしたが団員が身を呈してなるべく濡れないように運びました。</p> </div> <div data-bbox="1165 1070 1361 1106" data-label="Section-Header"> <h4>団員コメント</h4> </div> <div data-bbox="973 1117 1390 1294" data-label="Text"> <p>被爆者の合唱、長崎市長による長崎平和宣言、被爆小学校の児童合唱、一つひとつの心が心に残っています。またとない貴重な機会となりました。</p> </div>
12:00	昼食 【会場：長崎中華 紫瑠璃】
14:00	<p>●青少年ピースフォーラム2日目【会場：出島メッセ長崎】</p> <p>青少年ピースフォーラムでは、【違うってどういうこと？違うって悪いこと？】というテーマについて、全国から集まった同世代の学生たちと意見交換をし、それぞれの平和に対する考え方や想いを知る機会となりました。</p>
	<div data-bbox="308 1608 863 2022" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="892 1608 1442 2022" data-label="Image"> </div>

16:30	<p>●長崎原爆資料館見学【会場：長崎原爆資料館】</p> <p>長崎原爆資料館の見学では、被爆した際の実物資料やパネル、映像などを通して改めて原爆について学びました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
18:00	夕食【会場：海鮮市場 長崎港出島ワーフ店】

DAY 3 8月10日(金)

8:30	ホテル出発
9:00	<p>●被爆建造物等のフィールドワーク</p> <p>平和案内人の方に建造物の説明をしていただき、浦上天主堂や山里小学校、平和公園などをフィールドワークして、当時の背景や歴史を新たに学びました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid #ccc; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #e0f2f7;"> <p style="text-align: center; color: #0070c0; font-weight: bold;">団員コメント</p> <p>浦上天主堂は、現在、建て替えられていますが、所々に被爆の爪痕が見られます。 爆風で飛んだ鐘楼がそのまま残っているのが印象に残っています。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center; color: #0070c0; font-weight: bold;">団員コメント</p> <p>山里小学校の「あの子らの碑」の裏側には「平和を」とだけ刻まれていました。 文字があるとそちらに意識が集中してしまうので、見た人に自分で考えてもらえるようにしたそうです。</p> </div> <div style="width: 45%;">  </div> </div>
12:00	昼食【会場：ANAクラウンプラザホテル長崎グラバーヒル】

※8月8日～8月10日で全ての行程を遂行しましたが、天候の影響により帰京することができなかったため、福岡で延泊をして、翌日の8月11日(月)に帰京しました。

平和のつどい～若者が伝える平和の想いと未来～

○日時：令和7年8月23日（土）午後1時～5時10分

○場所：港区男女平等参画センター リーブラホール

「平和のつどい」は3部構成で行い、第1部では平和青年団が活動を通じて感じたことや学んだことを発表しました。

第2部では、平和青年団員たちが、来場者に向けて平和の体験企画を実施しました。

第3部では、都立三田高校および東京科学大学附属科学技術高校の吹奏楽部に素敵な演奏をしていただいた後、代表者から平和のメッセージが語られました。

第1部 語り継ごう、平和への想い ～広島派遣中学生・港区平和青年団活動報告会～



港区平和都市宣言朗読



市長メッセージ代読
(広島市長・長崎市長・八女市長)



発表の様子

第2部 平和体験企画



平和企画の様子①



平和企画の様子②



平和企画の様子③

第3部 平和コンサート・代表者による平和メッセージ



平和コンサート



代表者平和メッセージ



平和啓発活動 ～みなと区民まつりへの参加～

○日時：令和7年10月12日（日）

○場所：区立芝公園エリア

港区平和青年団としての最後の活動として、みなと区民まつりに参加しました。

区民まつりでは、広島に奉納された折り鶴を再生した折り紙を使用して、来場者のみなさんに折り鶴を折っていただいたり、ハガキに自分の思う平和についてイラストを描いてもらいました。また、平和青年団が自ら話し合ってきた企画も実施しました。特に、平和へのメッセージを集めた「平和の木」の作成では多くの方がメッセージを書いてくださり、私たちの活動を広く知ってもらうことができました。

平和の木



折り鶴・はがきアート・平和青年団活動パネル展示



企画を話し合う上で苦労もありましたが、多くの区民の方がお越しくださり、活動を終えることができました。

子どもから大人までの幅広い世代の方が来場してくださり、自分たちの学びについて考え直す機会にもなりました。

来場してくださった皆様ありがとうございました。

港区平和青年団修了式

○場所：港区役所9階研修室

区民まつり終了後に、修了式を実施しました。団長から団員に修了書を交付し、団員からは平和青年団の感想や今後の抱負が語られました。



※当日参加できなかった団員には、後日修了書をお渡ししました。